

宮本 妥子

みやもと やすこ

打楽器・マリンバ

静岡県出身 滋賀県在住

【所属マネジメント】

有限会社ジャパン・クリエイティブ
(ハーモニー・ミュージック・スタジオ)

住所：〒524-0037 滋賀県守山市梅田町 2-1 セルバ守山 212

TEL：077-582-4000 FAX：077-582-5005

担当：伊藤 隆也 E-mail：office@harmony-music.info



やってみたいアクティビティとコンサート

<アクティビティ>

【郷土の民話】

その地域の民話から受けたインスピレーションを音と語りでコラボレーションします。子どもたちに地元の民話を伝えるとともに、地域の方々との交流も深めたいです。

【絵本と音楽】

「いろがみのうた」という絵本を題材に、色という色彩を言葉で奏でて音楽で彩るという試みです。子どもたちの創造力も最大限に生かしていきます。

【詩と音楽】

あるテーマで子どもたちに短い詩を書いてもらい、その詩を聞いて即興演奏します。自分たちで書いた詩に音楽が奏でられ、喜びが生まれます。

【音の視覚化】

音を視覚で感じるワークショップで、こどもたちの想像力を育み、また感じたことを奏者と対話を通して共有することで感動体験が高まります。

<コンサート>

マリンバの重厚で優しい音色や打楽器の迫力あるリズムカルな演奏から仏具や植木鉢、スプーンなど「えっ！これが楽器になるの？」というような物で心に響く演奏をします。

自己PR

これまでいろいろな地域でアクティビティ&コンサートを200回以上させていただきました。私がコンサートで大切にしていることは、地元のスタッフの方とひとつの目的に向かって団結し、一緒に舞台を創り上げることです。初めて訪れる場所でも常に新しいアイデアやその地域にあった試みを意識してきました。今後も主催者の方と意見交換し、その地域性を生かした舞台を共に創り、共に伝えたいです。

PROFILE

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻、ならびに同大学音楽学会《頌啓会》特別専修課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学大学院を経てソリスト科を首席最優秀にて修了。ドイツ国家演奏家資格（Konzertexamen）首席取得。ルクセンブルク国際マリンバコンクール（1995）、第46回ミュンヘンARD国際音楽コンクールでファイナリスト（1997）、ライブツィヒ現代音楽アンサンブルコンクール第1位（1998）、滋賀県文化奨励賞（1998）、平和堂財団芸術家奨励賞（2001）を受賞。宮本妥子の超絶的演奏を想定してミシェル・ジャレルから献呈された、マルチ・パーカッション独奏と管弦楽のための協奏曲《Unlong fracas somptueux de rapide celeste...》をベルンハルト・ヴルフ指揮パーゼル交響楽団と世界初演（1998）、仏アンリ・ルモワヌ社から直ちに出版され翌年に岩城宏之指揮びわこ祝祭管弦楽団と日本初演も行い、大きな話題となる。その他フリーの打楽

器奏者として世界10カ国以上のフェスティバルに招聘、テレビやラジオ出演やCD録音も行う。帰国後、財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業登録アーティストをつとめ、全国各地で200回以上ものアウトリーチやコンサートを行う。最近では、創造型こども音楽プログラムなどのプロデュース、新進芸術家育成プログラム「湖鼓から未来へ」プロデューサーとして若手芸術家を育成し、文化振興を推進するなど、多彩な活動を展開しており、自身のCD制作「Dear」「空想～千夜一夜」などではクオリティの高さが話題と称賛を呼んでいる。これまでに滋賀県文化審議委員、次世代育成部会委員を務め、現在は滋賀県立石山高等学校音楽科、相愛大学・同大学院非常勤講師、同志社女子大学嘱託講師を務めるなど、多方面で活躍。

<http://www.yasukomiyamoto.com/>